

令和5年度 会派調査研究報告書

(視察先1箇所につき1枚)

会 派 名	日本共産党上田市議団
事 業 名	(1) シェアアトリエ 海の校舎を現地視察 (2) 笠岡市市役所にて
事 業 区 分	①研究研修 ②調査

1 上田市での課題と研修・調査の目的

今後の上田市の取組みの参考としたい。

2 実施概要

実施日時	視察先	岡山県笠岡市
令和5年7月24日 8:30 ~ 11:30	担当部局	(1) シェアアトリエ海の校舎の代表理事 (2) 笠岡市学校教育部長、担当課長

報 告 内 容	 <p>(画像は、シェアアトリエ 海の校舎にて)</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>笠岡市</th> <th>上田市</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人口</td> <td>47,160人</td> <td>155,595人</td> </tr> <tr> <td>面積</td> <td>136.24 km²</td> <td>552.04 km²</td> </tr> <tr> <td>財政力指数</td> <td>0.58</td> <td>0.60</td> </tr> <tr> <td>小学校</td> <td>17(2,062人)</td> <td>25(7,849人)</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td>11(1,060人)</td> <td>12(4,354人)</td> </tr> </tbody> </table>		笠岡市	上田市	人口	47,160人	155,595人	面積	136.24 km ²	552.04 km ²	財政力指数	0.58	0.60	小学校	17(2,062人)	25(7,849人)	中学校	11(1,060人)	12(4,354人)
		笠岡市	上田市																	
人口	47,160人	155,595人																		
面積	136.24 km ²	552.04 km ²																		
財政力指数	0.58	0.60																		
小学校	17(2,062人)	25(7,849人)																		
中学校	11(1,060人)	12(4,354人)																		
	<p>(視察事項について)</p> <p>(1) シェアアトリエ 海の校舎について</p> <p>◆シェアアトリエ海の校舎について</p> <p>① シェアアトリエ海の校舎を活用するまでの経過を教えてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2018年3月、笠岡市立大島東小学校閉校。 ・2018年4月、現NPO代の表南智之氏、理事の藤本氏が大島東小の廃校を知る。 ・2018年11月、学校が立地する大島地区の大島まちづくり協議会が小学校の利活用を募集し3団体が事業案を出した。南氏と藤本氏も提案。 																			

・ 2019年5月、笠岡市協働のまちづくり課が当該施設の活用窓口になる。

・ 2019年1月、プロジェクトチーム発足（法人設立に向けて動き出し）

・ 2020年5月、NPO法人設立総会

・ 2020年7月、NPO法人認証

・ 2021年7月、シェアアトリエ海の校舎オープン

② 校舎を活用するにあたって、市役所（担当課）とはどんな協議をされましたか。

・ 南氏と藤本氏が廃校舎の利活用を提案したが、なかなか担当部署が決まらずに時間がかかった。窓口がきまってからも様々なことでオープンまで時間を要した。

③ シェアアトリエ海の校舎の家賃、管理費や共益費などはどのようになっているのですか。

・ 収支は、2022年度では収入は家賃などで約550万円、支出は建物の維持管理費410万円など総額約557万円で約7万円の赤字となっている。

④ この校舎に入居されている工房のメリットは何ですか、採算がとれているのでしょうか。

・ 異業種が校舎に入っていることで、交流や事業の連携ができることがメリット。

④ 校舎がモノづくりの工房に生まれ変わったのですが、どのように公募がされてどのように応募されたのでしょうか。

・ 学校が立地する大島地区の大島まちづくり協議会が小学校の利活用を募集し3団体が事業案を出した。南氏と藤本氏も提案した。

⑤ 当市では、来年3月をもって西内(にしうち)小学校が統合します。校舎等の利活用の検討を始めるところですが、何かアドバイスがあれば教えてください。

・ 市役所の担当部署を早期に明確にした方が良いと思う。

・ 市役所は当初は建物を取り壊す予定でいたので、利活用をしたいという提案が実現するまでに時間がかかった。廃校となった建物の所有者である市の考え方がどうかをしっかりと確かめた方が良い。

・ 廃校となったが立地している地域のみなさんとの相談や交流が重要となる。



画像は、廃校舎から見える海
シェアアトリエ 海の校舎の
名称はここからきている。

(2) 笠岡市立小・中学校規模適正化計画について

① 「笠岡市立小・中学校の学校規模適正化計画書」の策定には、どの部署が関り、どの程度期間はかかりましたか。

- ・平成24年5月「小中学校の学校規模の適正化について」笠岡市教育審議会に諮問し、平成25年11月25日答申を受けた。
- ・平成26年3月「笠岡市立小中学校の学校規模適正化計画」を策定し、この計画にそって学校規模の適正化を進めてきた。

② 小学校と中学校が一体となった小中一貫教育校について

施設一体型、施設隣接型、施設分離型に区分されていますが状況を教えてください。

(令和5年現在)

- ◆施設一体型 なし
- ◆施設隣接型 なし
- ◆施設分離型 5校

- ・今井小学校 令和5年度を目途に笠岡小学校へ統合する。
- ・陶山小学校 令和8年度を目途に整備予定の一体型一貫校の開設時に再編成統合する。
- ・新山小学校 令和10年度までに整備予定の一体型一貫校の開設時に再編成統合する。
- ・北山小学校 これまでどおり継続する。北川小学校は学校区に児童養護施設があり特別な役割を担っている。

など、個別の学校毎に地籍、役割、児童数、将来展望などをもとに存続、再編成統合などを決めている。

③ 神島外中学校において導入している転入学特別制度を平成27年度からは神島外小学校においても導入し、市内からの転入学児童を受け入れる体制とされています。

転入学特別制度とは何ですか？ また、小規模特認校制度とは違うのですか？

- ・神島外小学校と隣接した神島外中学校はこれまで「連携教育推進校」に指定し「英語教育」を核に小中一貫校を推進してきた。こうした特徴を踏まえて継続することになった。

④ 統合、存続、小中一貫校への整備など様々な整備計画が示されていますが、保護者や地域のみなさんとの協議はどの程度されていますか。また、住民の声はどのように反映されましたか？

- ・教育審議会には保護者や住民の代表が参加しており、住民の意見は反映されている。
- ・住民説明会はこのべ48回行った。(平成26年度から令和元年度まで)
- ・学校規模の適正化に当たっての基本的配慮事項として「学校と地域の連携による特色ある学校づくりについて」など5項目を重点としている。

◇感想(まとめ)・市政に活かせること

- 1 シェアアトリエ海の校舎については、廃校になった校舎の利活用をしたい提案したグループが出てきたことがすべての始まりでした。地元説明会、建築審査会、補修工事、消防設備設置、NPO 法人設立総会、認可などオープンまでにかかなりの時間と経費が掛かっています。意欲あるグループをサポートする市役所の体制が重要だと思います。
- 2 オープンして3年目に入っていますが、収支は改善されているものの事業を継続するには収支の改善をきちんと管理する体制や能力が必要だと思われた。
- 3 笠岡市立小・中学校規模適正化計画については、人口減少と少子化が進む中で学校規模の適正化は避けては通れない課題だと思います。笠岡市は、島しょ部小学校があり地勢から少人数になっても学校を継続する選択となっている。合わせて、他の小中学校については、住民説明会などを通じて現状と方向性について理解を求め数年先の計画をもってすすめている。

※最後に、森山教育部長、学校教育課の槇野課長、議会からは妹尾議長、蔵本副議長、議会事務局の塚本局長、杉岡主任に対応をしていただき説明や質問に丁寧に答えていただきました。

* 視察先の写真等がある場合は添付のこと